

公立小松大学 スケジュール等

HP	https://www.komatsu-u.ac.jp/
受入が難しい日程	1月～3月(入試)
	水曜日午後(会議)

連絡事項:

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	オンライン 対応	中学生 対応
生産システム学部 生産システム科学科						
1	自動車軽量化のための材料	近年、カーボンニュートラルを目指す動きに伴い、自動車のCO2排出量の削減が強く求められています。その過程で、自動車の衝突安全性や材料の信頼性を確保しつつ、鋼、アルミ合金、マグネシウム合金、チタン合金、CFRP、そしてマルチマテリアルの使用を通じた自動車の軽量化に向けた取り組みが進められています。この講義では、自動車軽量化の必要性、取り組み方、材料特性、材料選定基準などについて紹介します。	准教授 朴 亨原	PCは持参	可	可
2	身近なセンサーと電気制御技術	スマートフォン、ゲーム機、自動車の制御や電動化、ロボット制御、天気予報といった私たちの身の回りの至る所でセンサーは利用されています。本講義では最新の電気技術をお話しながら、各種センサーがどのように動き、どのように使われているのか、実例を交えて解説します。	准教授 池田 慎治 准教授 山下 幸三	PCは持参	可	可
3	運動と振動の制御	人間の意図した通りに機械を動かしたい場合、機械の運動そのものと、その運動の副産物として生じる振動を制御する必要があります。機械の運動と振動に関する問題とその解決方法に関する基本的な考え方を解説します。	准教授 疋津 正利 教授 廣瀬 圭	PCは持参	可	可
4	人工知能	昨今、ChatGPTやAI絵師、物体認識など様々な場面で人工知能(AI)が用いられ、あたかもAIが万能であるかのごとく取り出さされているが、AIとはいったいどのようなものなのか?本講義では人工知能の定義、用途、背景、そして人工知能を利用する上で注意する点などについて詳しく解説します。	教授 梶原 祐輔 助教 坂本 一磨	PCは持参	可	可
5	スポーツと工学	近年のスポーツ用具や設備等の開発には、安全性や機能性に加え、選手の動作を考慮した製品設計がとても重要である。これらに欠かせない機械工学やスポーツ工学の概要とスポーツ用具の開発事例等について解説します。	教授 酒井 忍 教授 香川 博之	PCは持参	可	可
保健医療学部 看護学科						
6	看護職をめざしている貴方に役立つ知識満載講義	医療専門従事者の種類と役割、看護師・保健師・助産師の仕事、大学生活、大学と専門学校の教育の違い、国家試験受験資格と資格取得、卒業後の進路・就職、などについてわかりやすく説明し、高校生の皆さんの将来設計に役立つ貴重な材料を提供します。	看護学科教員	PCは持参	可	可
7	「わかる・つかえる・役に立つ 看護ケア」	高校生でも知っておくべき、基本的な看護知識・ケア(感染症予防・自身や家族の健康管理など)について分かり易く説明し、家庭内や学校生活でも役に立つ基本的な知識を提供します。	看護学科教員	PCは持参	可	可
保健医療学部 臨床工学科						
8	最新医療技術と臨床工学技士の役割	臨床工学技士の重要な業務は、生命維持管理装置の操作と管理です。この代表的なものは、呼吸、循環、代謝を代行する人工呼吸器、人工心肺装置、および血液透析装置です。本講義では、生命維持管理装置の仕組みと医療現場での重要性を紹介します。	准教授 佐藤 宜伯 准教授 山田 昭博	PCは持参	可	可
9	医療に関連する科学と技術	医療技術の進歩は、医療現場だけでなく、日常生活にも深く浸透しています。体温計、血圧計、スマートウォッチも医療技術の成果を活用しています。この講義では、生体計測や医用画像処理の分野における科学技術を主に紹介します。	講師 井澤 純子 助教 鈴木 郁斗	PCは持参	可	可
国際文化交流学部 国際文化交流学科						
10	観光学の新たな展開と南加賀の地域創生	小松市を中心とした南加賀地域の地域創生について、国際的な観光振興の実績と問題点をふまえながら、国際文化交流学部での講義を基に、石川県内で活動する他大学との連携に資する講義を提供します。	国際文化交流学科教員	PCは持参	可	可
11	アジア社会と国際交流	中国の政治的、経済的プレゼンスが地球規模で拡大する中で、日本とアジア諸国はこれとどのように向き合っていくかが問われています。国際文化交流学部で展開する授業を基に、地域として国際交流のあり方を考える講義を提供します。	国際文化交流学科教員	PCは持参	可	可
12	国際交流のための言語文化研究	世界各地域の言語と文化に関わる多様なトピックを、国際文化交流学部で開講されている授業内容を基に、学術的視点から論じ、国際的な領域での着実なコミュニケーションの確立に資する授業を提供します。	国際文化交流学科教員	PCは持参	可	可